



春節間近！ 口蹄疫・アフリカ豚コレラの 発生予防対策の再徹底を

今年に入り、口蹄疫が韓国、ロシア東部で相次いで発生しています。また、アフリカ豚コレラは、昨年8月に中国での発生以降、全土に拡大し、本年1月9日にはモンゴルにおいても発生が確認されています。

このような中、中国等近隣諸国で春節（2月4日～10日）を迎えることにより、さらに人や物の移動が活発化し、口蹄疫などの病原体の侵入リスクが高まることが予想されることから、口蹄疫・アフリカ豚コレラの病原体の侵入対策（部外者立入禁止看板設置等）が万全か点検し、飼養衛生管理基準の遵守の強化を図って下さい。

飼養衛生管理基準の要点

- 1 伝染病発生予防に関する 最新の情報 を把握。
- 2 立入者の衛生管理区域への病原体持込み防止 のため、
 - ① 手指、靴の消毒
 - ② 立入車両の消毒
 - ③ 関係者以外立入禁止
 - ④ 食品残さは加熱後給与
- 3 野生動物の侵入防止。
- 4 病原体に汚染されていない清潔な飲用水を給与。
- 5 衛生管理区域の衛生状態の確保のため、畜舎、器具の清掃、消毒。
- 6 家畜の健康観察を入念に実施し、異状が見られた場合は直ちに獣医師に連絡。
- 7 感染ルート特定のため衛生管理区域の立ち入りを記録。

口蹄疫の症状

発熱や食欲不振に始まり、**よだれ**を流したり、跛行をしたり、**口、ひづめ、乳房に水ぶくれ**ができる。



口唇のただれ



蹄の剥離(豚)



大量のよだれ

アフリカ豚コレラの症状

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42℃)、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

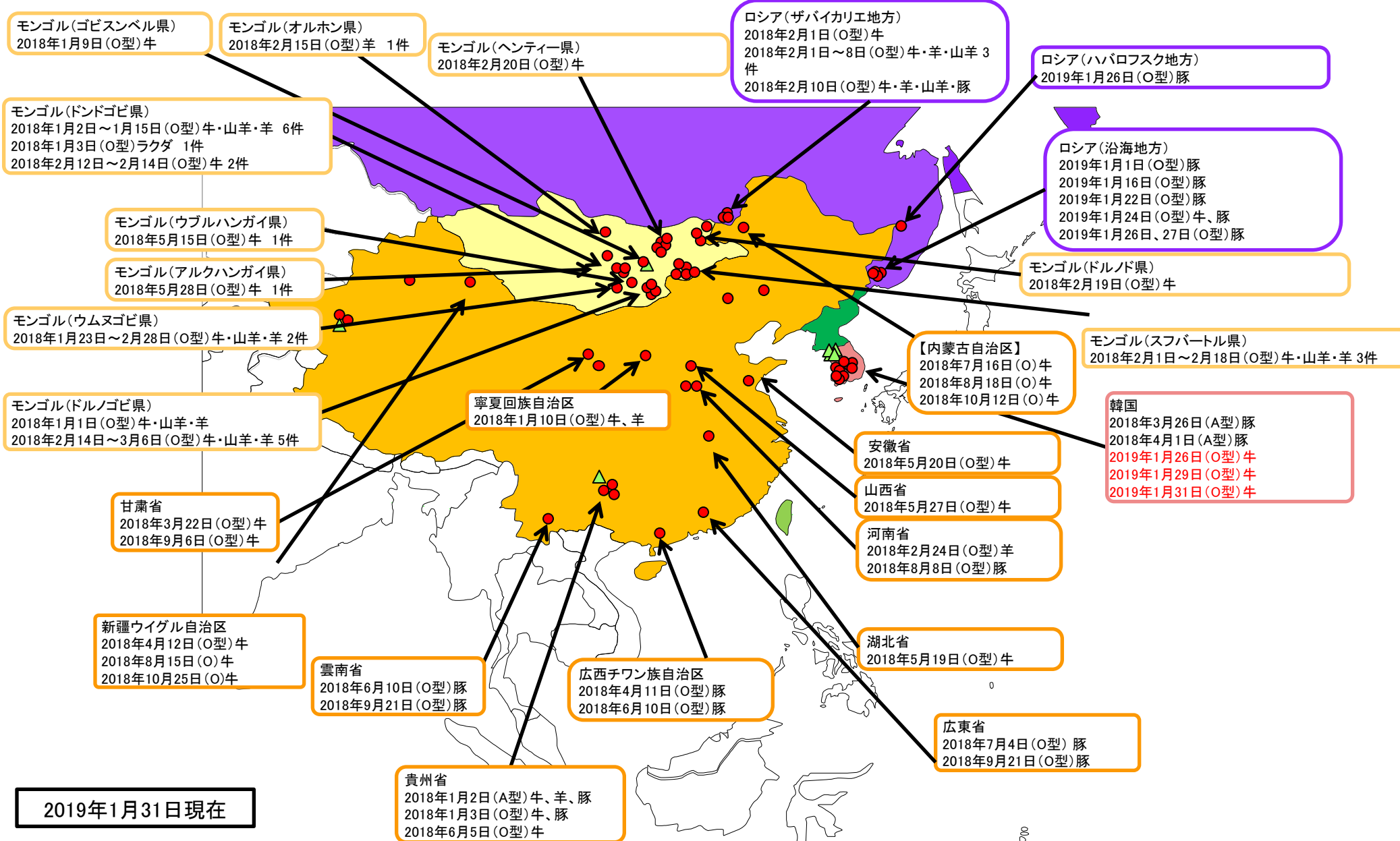


写真出典: USDA APHIS Plum Island Animal Disease Center

家畜に異常がみられたら直ちに青森家畜保健衛生所に一報を！！

電話 017-764-1744 休日・夜間 090-2274-0474

中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況（2018年1月以降の発生）

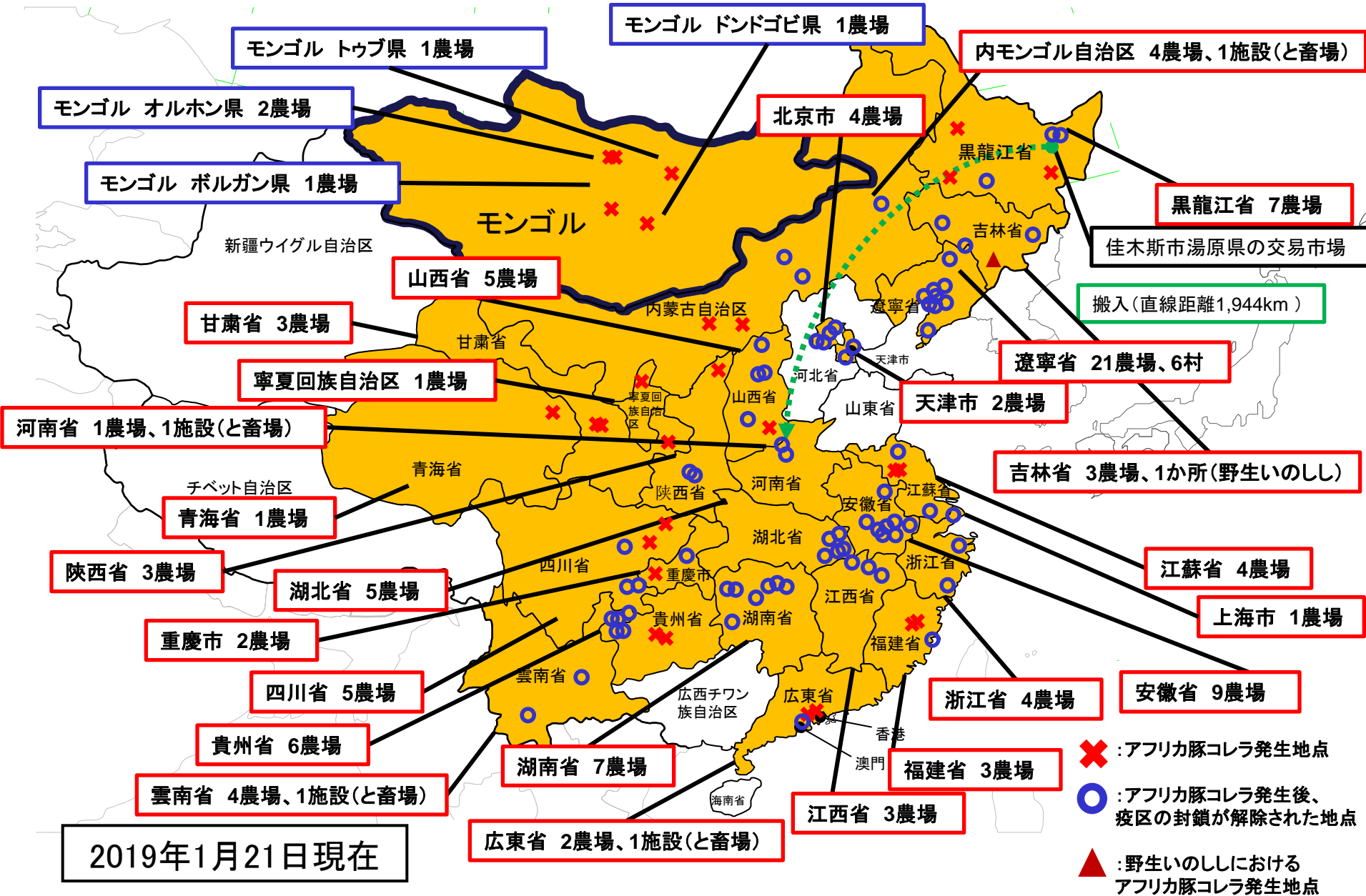


2019年1月31日現在

※ 出典: OIE ほか
 ※ 赤字は更新箇所
 ※ 日付は発生日(各々の事例が初めて観察された日)
 ※ ロシアは東アジアの近接地域に限る

▲ : A型口蹄疫
 ● : O型口蹄疫

中国・モンゴルにおけるアフリカ豚コレラの発生状況



※ 中国当局、OIEからの情報を元に作成。